

和歌山商工会議所経営発達支援計画 令和 8 年度事業評価委員会議事録

① 開催日時:令和 8 年 9 月 8 日(火) 13:20~14:30

② 会 場:和歌山商工会議所 3 階 会議室

③ 出席者:<委 員>

(一社)和歌山県中小企業診断士協会 会長 濱田智司

(一社)和歌山銀行協会 常務理事 林寛久

(公財)わかやま産業振興財団 専務理事 三龍正人

和歌山県 商工労働部 商工振興課長 石橋寿通

和歌山市 産業交流局 産業部長 南崎義徳

和歌山商工会議所 専務理事 大川伸也

<事務局>

和歌山商工会議所 事務局長 野田浩史

企業支援部部長 白井志功

企業支援課長 中谷恵理子

企業支援課 田上裕己

④議 事

令和 7 年度経営発達支援計画事業 下記の各項目に関して順に中谷企業支援課長から説明。

< I . 経営発達支援事業の内容 >

1. 地域の経済動向調査に関すること
2. 需要動向調査に関すること
3. 経営状況の分析に関すること
4. 事業計画策定支援に関すること
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること(フォローアップ)
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること
7. 経営指導員等の資質向上等に関すること

各委員からの意見を下記に記載。

各委員からの意見を下記に記載。

①「4.事業計画策定支援に関すること」について、来年度以降、価格転嫁セミナーを要望する。

→現在、価格転嫁セミナーは開催していないが、会報誌でツール等の価格転嫁に向けた記事を掲載している。
併せて県庁主催の価格転嫁セミナーは経営指導員が出席するとともに、事業所へ伴走支援している。主催については、支援機関、行政で調整し、限りあるリソースを効果的に活用できるよう、役割分担したい。

②「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」について、成約が 0 件の事業所に対し、原因の分析と事前指導、フォローアップの実施を提案する。

- 今年度は3社出展予定で、展示会に精通している専門家を派遣することで、交渉方法やブースのしつらえなどの指導を受けたうえで、10月の本番に臨む。1社でも多くの成約に結び付けたい。
- ③「1.地域の経済動向調査に関すること」について、アンケートを踏まえ、会員事業所の声を聴いてほしい。利用できたことやヒアリング項目として不足していることなど。
- ニーズ等の調査などを検討したい。
- ④マル経融資の投資効果、「MieNa」などのデータ提供における新店舗への効果など、アウトプットへの成果を期待したい。商工会議所がもっている独自のデータや全国の労働生産性など、地域間の比較や業種間の比較などがデータ提供できれば、事業所にとってより精度の高い意思決定が可能となる。
- ⑤景気動向調査の回収率が低い。回収率を上げるための工夫が必要ではないか。
- 他の団体が実施しているものも大体30%だと認識している。他方で、複数の団体で同様の調査を実施しており、回答者からは集約してほしいとの声もある。他団体とも調整を重ねたが、それぞれの団体で調査したい項目が異なることから、早いタイミングでの共同実施は難しいとの結論に至った。今後も共同実施や集計結果の共有などに向けて調整を重ねたい。
- ⑥濱田委員にお伺いする。研修会の講師を濱田先生に務めていただいたが率直に経営指導員の動向などはどうか。
- 経営指導員の人員減少にすごくあえんでいる中で、省力化が課題。紀南の会議所には、景気動向調査を外注し、巡回など中核事業に注力することを提案している。